

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 元八王子事務所

日時 令和6年(2024年)7月14日(日)
14時30分～16時00分

発言者 9名 参加者 33名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
1	<p>平成23年9月19日に防災の研修会を受講した。市広報の記事では10名枠の募集とのことだったが、当日は100名近い参加者がいた。</p> <p>後日防災課に尋ねたところ、危険性があるため市民募集枠は少なくしているとのことだったが、防災訓練で危険性があるとは不思議である。また、次の募集予定について尋ねたが答えられないとのことだった。</p> <p>過日、町会の防災出前講座等に参加した際に、阪神淡路大震災では、自衛隊による救出は3割程度で、7割の方は近所の方や家族に助けられたとの話があった。</p> <p>また、八王子市自主団体連合協議会の育成会で、講師は「訓練は家族皆で参加するもの。災害は時を定めない」と話されていた。一人でも多くの方が防災研修の受講ができるようお願いしたい。</p>	<p>消防署で市民向けの救命講習を行っているほか、市の総合防災訓練でAEDの使い方の訓練を行っている。</p> <p>お話しをいただいた訓練は、自主防災団体連絡協議会が行っている特別救命講習のことだと思う。自主防災団体連絡協議会の加盟団体が費用を負担しているということもあり、参加枠が取れなかったと思われる。</p> <p>様々な場面で災害時に備えたスキルアップは必要だと思うので、皆さんが訓練に参加できる場面をこれからも用意していきたい。</p> <p>また、防災課のホームページが分かりにくくなっている可能性もあるので、改善したい。</p> <p>参考までに、10月20日(日)にAEDの体験訓練や様々な体験ができる総合防災訓練をみなみ野小中学校で実施するので、参加できる場を用意する。</p>
2	<p>各国がカーボンニュートラルを目指しており、八王子市も取り組んでいる。</p> <p>しかし、市民に理解されていないように感じる。</p> <p>Co2削減の見える化が問われている。</p>	<p>八王子市ではゼロカーボンシティ宣言を行い取り組んでいる。</p> <p>外資系の企業からは、8割以上を再生可能エネルギーで賄うことを目標としていると聞いた。その意味では、さらに再生可能エネルギーの普及が必要であり、また、八王子市の魅力を伝える中で、「見える化」というのは大変重要と考えている。</p>
3	<p>東京都認定幼稚園類似施設には行政からの支援が一切ない。</p> <p>存続のために公的な支援をお願いしたい。</p> <p>公的支援を受けるには、どのような条件を満たしていけばいいのか、どういった制度の見直しをお願いしていけばいいのか、そういった話し合いをするための窓口の担当者につないでほしい。</p>	<p>都が作った制度とはいえ、課題を改めて強く認識して、市だけの対応ではできないことも分かった。</p> <p>まずは、東京都につないでいきたい。</p>
4	<p>教育委員会や市議会議員、考える会が連携し、小中学校教員用の化学物質過敏症の手引きやポスターを作成してもらったが、化学物質過敏症についての理解がない学校もある。</p> <p>全小中学校、可能であれば幼稚園、保育園に対し、匂い製品を控えるお願いと過敏症の周知についての手紙を配布させてもらうことはできないか。</p> <p>化学物質過敏症が治った子どもが学校や社会にスムーズに戻れるよう、学習支援を考えてほしい。</p> <p>化学物質過敏症について、今後どのように周知していく必要があると考えているのか。</p> <p>教育委員会だけでなく、市と考える会で連携することを考えてもらえないか？その際は担当者を教えてほしい。</p> <p>今学期から、教育委員会で個人持ちの給食着の貸し出しを行っているが、周知されていないので制度として機能していない。また、学校ごとにある予備の給食着の貸し出しで対応していることもあり、個人持ちの制度は利用されていないと思っている。</p> <p>過敏症について、市民講座や講演会を開いて広く周知してほしい。</p> <p>新型コロナウイルスワクチンで過敏症になった人もいる。ワクチンのデメリットについても周知してほしい。</p>	<p>市の担当部門については、学校教育部については既につながっているものと思うので、それ以外の部署について後日回答する。</p> <p>東京都で教育委員会に在籍していた際、化学物質過敏症への対応も行ってきた。また、新型コロナウイルス感染症対応の局長だった際には、香害対応の責任者でもあった。対応の必要性は認識している。</p> <p>ワクチンについても責任者であったので、ワクチンの負の要素というものを紹介してきたつもりだが、今日、改めてそのような声があるということを知った。</p>

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 元八王子事務所
 日時 令和6年(2024年)7月14日(日)
 14時30分～16時00分
 発言者 9名 参加者 33名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
5	精神病院に生活保護を受けている人が入院し、一定額以上貯まると生活保護を止めないといけないのに、なぜ市は止めないのか。切らなければいけない時には切っていただきたい。他市の保育園だが、延長すると料金を取られる。また、保育園職員からお金を払えばいいと思っているのか、と言われた。少子化対策というのなら、夜や日曜日でも母親が安心して働けるような環境を整えてほしい。	生活保護についてのご意見は担当者に伝える。母親が安心して働けるための保育園というものは、大事なことだと思っている。
6	市施設への太陽光発電設置について、今年度から始まっているのか？始まっているなら、どの施設なのかを具体的に教えてほしい。小中学校の照明LED化、水道の省エネルギー化について、この小中学校で始まっているのかを教えてください。	小中学校体育館に空調機を設置し、普段から使用すると光熱水費が増加するため、光熱水費削減のために学校照明のLED化や自動水栓化に取り組んでいる。小中学校のLED化については、67校が8月末までに、令和7年1月までに全ての小中学校で完了する。小中学校14校、市民センター4箇所、事務所4箇所について昨年度太陽光発電設備を設置している。
7	都営石川団地には、自治会、シニアクラブ、認知症対策のためのグループがあり、各会に対し市から補助金が交付されている。認知症対策のためのグループとシニアクラブは同じようなことをしているのに、なぜ補助金額や使途に違いがあるのか。	事実関係を把握する。
8	地域づくりを行う中で、市職員の関わりが大切だと思う。行政と地域を結ぶのは職員。啓蒙していただきたい。また、恩方では空き家が課題になっている。空き家の活用が、地域活性化において重要だと思うが、持ち主は賃貸や売買することに不安を持っており、借りたい人がいても借りられない現状である。空き家バンクなど、市のサポートで貸主が安心して貸せる制度があれば、借りられる人も多くなるのではないか。	市の職員の役割はコーディネート力だと思っている。若手職員を皆さんの手でも育ててほしい。人材育成については自ら研修も行っているが、研修には限界がある。市民の方と触れ合い、名前を覚えてもらうといったことの中で成長してほしいという思いも持っているので、しっかりと関わりは作っていききたい。空き家については切実な問題である。都内では世田谷区が一番空き家が発生しており、世田谷区の取組を注視している。先行する世田谷区の事例も含め、しっかりと対応する。
9	少子化問題を食い止めた自治体の特徴として、子育てを最大限支援する、というシンボリックな施設がある。例えば、長野県茅野市には駅近くの閉店したデパートのワンフロアに屋根付き公園として親子広場がある。また、違うフロアには中高生が設計に関わったスタジオや学習室がある。八王子市の子ども家庭支援センターは狭あいであり、青少年総合相談センターやボランティアセンターは駅周辺の民間ビルにバラバラに入居している。乳幼児から高齢者までが活用できる総合拠点としての社会福祉総合センターを八王子駅南口付近に設置していただきたい。	シンボリックな施設というのは、改めて気づかされる点がある。教えてもらった自治体の取組を見てみようと思う。八王子のこれまでの取組や特性を活かしながら少子化対策、子育て支援を充実させていきたい。